

行政事業レビューシート (文部科学省)

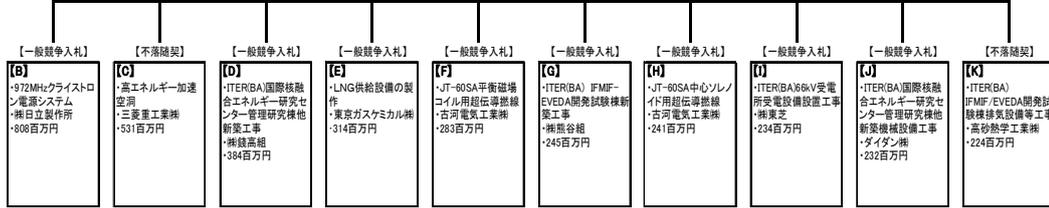
予算事業名	独立行政法人日本原子力研究開発機構施設整備に必要な経費		事業開始年度	平成17年度		作成責任者
担当部局庁	研究開発局		担当課室	原子力課		原子力課長 篠崎 資志
会計区分	一般会計		上位政策	原子力分野の研究・開発・利用の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人日本原子力研究開発機構法 第十七条		関係する計 画、通知等	原子力政策大綱(H17年10月11日 原子力委員会決定) エネルギー基本計画(H22年6月18日 閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	独立行政法人日本原子力研究開発機構法第十七条に規定する業務を効率的かつ円滑に遂行することを目的とし、同機構の業務を遂行するため、施設整備に必要な経費について補助する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(独)日本原子力研究開発機構は、基礎・基盤研究からプロジェクト研究開発までを包含する我が国唯一の原子力に関する総合的な研究開発機関として、核融合研究開発、量子ビームテクノロジー等に関する研究を推進するとともに、原子力技術基盤を維持・強化することとしている。 このため、(独)日本原子力研究開発機構に対し、これらの研究および技術基盤維持のための施設整備に必要な経費について補助を行い、原子力の研究、開発及び利用の促進に資する。(補助率:定額)					
実施状況	(独)日本原子力研究開発機構が行う下記施設整備に必要な経費を補助した。 ①核融合研究の幅広いアプローチ活動において、平成21年3月に青森県六ヶ所村にて国際核融合エネルギー研究センターを完成。茨城県那珂市で進めるサテライト・トカマクの超伝導コイルなどの機器製作を着実に推進。 ②平成23年度の材料試験炉再稼働に伴って増大する液体放射性廃棄物処理のための処理装置類の許認可手続き及び製作・据付を進めた。 ③量子ビームテクノロジー研究分野で、大強度陽子加速器のリニアックのビーム利用を継続しながら、エネルギー増強を行うための機器製作および施工(夏期調整中)に備えた準備作業を進めた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18,292	10,815	7,163	3,947	7,078
	執行額	18,292	10,387	6,848		
	執行率	100.0%	96.0%	95.6%		
	総事業費(執行ベース)	18,123	10,268	6,783		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	毎年度、事業完了後に現地へ赴き、額の確定調査を実施しており、支出先・用途について把握を行い、本事業の目的に適した適正な支出が行われていることを確認している。				
	見直しの余地	当該補助金に関して、(独)日本原子力研究開発機構全体の事業の整合性や事業の適正性・効果を確認し、適切な交付に努める。				
予算・監視・所見率化	1. 事業評価の観点:この事業は、原子力に関する研究、高速増殖炉の研究開発、高レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発等に取り組む日本原子力研究開発機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。 2. 所見:計画的な整備を着実に実施する観点から現状を維持した上で、公開プロセスでの指摘等を踏まえ、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、予算の硬直化を防ぐため、後年度負担も念頭に整備内容を精査することにより、事業の効率化を一層進めるべきである。					
補記						

文部科学省
6.848百万円

事業概要
独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、その業務の実施に必要な施設の設置又は改造に要する費用に係る補助金の交付

〔交付〕

〔独〕日本原子力研究開発機構
6.783百万円(一般会計施設整備費補助金)



事業概要
大強度陽子加速器(J-PARC)の線形加速器(Liニアック)のエネルギー増強のため、高周波を増幅させる装置である972MHzクライストロン24式を駆動するための電源を構築する。

事業概要
J-PARCニアックのエネルギー増強のため、190 MeVから400 MeVまでの陽子ビームの加速に用いる加速空洞を整備する。

事業概要
ITER(BA)施設建設工事における青森県六ヶ所サイト整備のうち、管理研究棟、計算機・遠隔実験センター棟及び原状設計・R&D調整センター棟の建築工事を行う。

事業概要
原子力科学研究所内第2ボイラ施設(LNG(液体天然ガス)供給設備の設置、及び既設ボイラ設備の燃焼部更新、並びに既存設備の一部を撤去する。

事業概要
サテライトカマク(JT-60SA)平衡磁場コイル用超伝導導体に使用するニオブタン熱線と導体試作試験に用いる銅タミ-熱線を製作する。

事業概要
ITER(BA)施設建設工事における青森県六ヶ所サイト整備のうち、IFMIF-EVEDA開発試験棟の建築工事を行う。

事業概要
JT-60SA中心ソレノイドコイル用超伝導導体に使用するニオブ3スズ熱線と導体試作試験に用いる銅タミ-熱線を製作する。

事業概要
青森県六ヶ所サイトの各施設へ電力を供給するための受変電設備の設置工事を行う。

事業概要
ITER(BA)施設建設工事における青森県六ヶ所サイト整備のうち管理研究棟、計算機・遠隔実験センター棟及び原状設計・R&D調整センター棟の建設工事に伴う排気設備等工事を行う。

事業概要
青森県六ヶ所サイトのIFMIF/EVEDA開発試験棟の建設工事に伴う排気設備等工事を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(独)日本原子力研究開発機構			G.(株)熊谷組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費補助金	J-PARCに係る加速器空洞、国際核融合エネルギー研究センター管理研究棟等新築工事、液体天然ガスボイラーの更新等	6,783	工事	ITER(BA) IFMIF-EVEDA開発試験棟新築工事	245
計		6,783	計		245
B.(株)日立製作所			H.古河電気工業(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	972MHzクライストロン電源システム	808	製作	JT-60SA中心ソレノイド用超伝導燃線の製作	241
計		808	計		241
C.三菱重工業(株)			I.(株)東芝		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	高エネルギー加速空洞	531	工事	ITER(BA)66kV受電所受電設備設置工事	234
計		531	計		234
D.(株)銭高組			J.ダイダマン(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	ITER(BA)国際核融合エネルギー研究センター管理研究棟他新築工事	384	工事	ITER(BA)国際核融合エネルギー研究センター管理研究棟他新築機械設備工事	232
計		384	計		232
E.東京ガスケミカル(株)			K.高砂熱学工業(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	LNG供給設備の製作	314	工事	IFMIF/EVADA開発試験棟排気設備等工事	224
計		314	計		224
F.古河電気工業(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	JT-60SA平衡磁場コイル用超伝導燃線の製作	283			
計		283			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)